

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		健康増進課		健康企画係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	3	生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備	1	健康づくりの推進	1	地域ぐるみの健康づくりの充実			
事業名 食育事業の推進									
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費
	細目	6	健康づくり事業費	細々目	1	女性の健康診査事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		法定受託事務 (食育基本法)				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
朝食欠食や野菜の摂取不足による栄養の偏りなどの食生活の乱れによる「小児生活習慣病」の増加が社会問題として懸念されている。これを改善するため食育の推進体制づくり、さらには地域組織への支援が求められている。		食生活改善推進協議会が市民の食生活改善のための活動を強化充実させる。また、庁内関係各課、関係団体、幼保小中の食育担当者が連携した食育推進体制を構築し、ビジョンを共有し、計画的な食育推進に取り組む。		食生活改善推進員への研修会を開催し、研修会の内容を生かした活動の実施につなげる。また、庁内プロジェクトチーム、関係団体の代表、幼保小中食育担当者、公募委員で構成される食育計画策定協議会を開催し、食育推進計画を策定する。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
食生活改善推進協議会研修会及び計画策定協議会の開催回数			食育普及活動の開催回数				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
25回		25回		226回		226回	
100 %							

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	報償費	40	38,000	財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
	需用費	238	214,841		県支出金	()	
	委託料	720	720,000		地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		(100%)	998	972,841
合計		998	972,841	合計		998	972,841
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		1.65	6,953,840				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
食育推進計画を確実に推進していくため、進捗状況の確認をすることを目的とした関係者による定期的に会議を開催し、関係団体や関係各課の役割を明確にし、具体的な年度ごとの実施計画の検討が必要。	食育推進地域連絡会の立ち上げ及び会議の開催。地域組織(食生活改善推進協議会など)の継続的な養成・育成の実施。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

		部署名		健康増進課		健康企画課		No	1			
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)					
	3	生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備		1	健康づくりの推進		1	地域ぐるみの健康づくりの充実				
事業名	健康づくり行動計画の推進											
予算費目	款	4	衛生費		項	1	保健衛生費		目	1	保健衛生総務費	
	細目	6	健康づくり事業費		細々目	2	健康づくり事業費		会計種別	一般会計		
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()					予算種別	継続	経常			

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
平成20年度に高医療市に指定され、健康づくり推進協議会の中で、市民目線で健康づくり計画を策定する気運が高まった。これにより市民の有志により「山陽小野田市健康づくり計画」が策定された。		市民自らが主体的に計画に参加することにより健康なまちをつくる。		かたつむりの会に設置された各部会が連携しながら、健康に関する活動に取り組む。市内各所にステーションを設置し、健康に関する情報発信を行う。	
活動指標			成果指標		
かたつむりの会部会数			ステーション数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
4部会		2部会		75	
		100		75	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	90	90,000	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (100%)		90	90,000	
合計		90	90,000	合計		90	90,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		2	8,178,080				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
かたつむりの会の会員やステーションの数が十分でないため、市民に情報発信や活動の取り組みが満足している状態ではない。	健康づくり計画やかたつむりの会の存在をPRするとともに、ステーション、ボランティアや会員数の増加を図り、健康づくりに向けての情報発信や活動が十分取り組めるようにし、市民の健康意識の高揚を図る。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

		部署名		健康増進課		健康企画課		No	2			
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)					
	3	生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備			1	健康づくりの推進		1	地域ぐるみの健康づくりの充実			
事業名	健康増進事業の推進											
予算費目	款	4	衛生費		項	1	保健衛生費		目	1	保健衛生総務費	
	細目	5	健康増進事業費		細々目	1	健康増進事業費(補助)		会計種別	一般会計		
事務区分(根拠法令)		法定受託事務				(健康増進法)		予算種別	継続		経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
医療保険者が実施することとなった事業以外の健康手帳の交付、健康教育、健康相談、訪問指導、肝炎ウイルス検診等の事業については、市において健康増進法に基づき実施している。一次予防として健康を増進し、発病を予防する活動を実施していく。		壮年死亡の減少、健康寿命の延伸、健康に関する生活の質の向上をめざし、一人ひとりが自己の選択に基づいて健康を増進することが出来るように、40~64歳までの市民を対象に健康増進事業を実施する。また、65歳以上の方に対しては、地域支援事業として事業を実施する。		あらゆる機会を利用して健康手帳の交付を行う。健康教育では、いきいき健康づくり講座を2年間開講し、その後は地域でも健康づくりのリーダーとして活躍して頂ける健康推進員を育成する。また、地域からの要望により、自治会や老人クラブ等での教育を実施する。電話や来所、定例の健康相談を実施する。がん検診精密検査者への受診勧奨や地域からの相談により、訪問活動を実施する。	
活動指標			成果指標		
成人保健訪問件数			肺がん検診精密検査受診率		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
900(件)		787(件)		85.2	
目標値A(単位)		実績値B(単位)		%	
100(%)		85.2(%)			

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)	
支出内訳	報償費	47	0	財(源割内合訳)	国庫支出金	()		
	需用費	958	914,561		県支出金	(65.8%)	1,876	1,103,000
	役務費	78	78,000		地方債	()		
	委託料	1,917	682,509		その他	()		
					一般財源	(34.2%)	1,124	572,070
合計		3,000	1,675,070	合計		3,000	1,675,070	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)					
		2.15	11,554,480					

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
肺がん検診の個別検診の開始により、検診結果通知と案内チラシを併せて送付しているにも関わらず、精密検査の受診方法が分からず、相談が上がる事が多かった。がん検診の早期発見・治療のためには、精密検査を必ず受診する事が必要である。	訪問活動を通して、安心して受診できる体制を整えること、またそこから他の健康問題の相談も受けれる様に、地域に根差した訪問活動を行う。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート		部署名	健康増進課		No	1
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	3	生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備	1	健康づくりの推進	2	保健サービスの充実
事業名	予防接種の普及啓発					
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費
	細目	1	感染症予防費	細々目	1	予防接種費
事務区分(根拠法令)	法定受託事務		予防接種法・感染症予防法		予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
疾病の流行防止、重症化の軽減を図るため、予防接種法、及び感染症予防法に基づき予防接種を実施している。平成21年・22年度には新型インフルエンザの流行防止のため、新型インフルエンザ予防接種を実施した。なお、平成22年度末には子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業が行政措置による事業として実施。	免疫水準を維持する、接種機会を安定的に確保するために実施。 定期の予防接種：「予防接種法施行令」に基いた対象者 行政措置予防接種： 子宮頸がん等「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の実施について」に記載されている対象者 BCG「予防接種法施行令」に記載されている対象者	かかりつけ医で接種できるよう、県医師会と委託契約を締結し、広域医療圏で個別接種にて実施。	
活動指標		成果指標	
BCG全員接種をめざした第1子訪問活動		BCG接種率	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
214(人)	192(人)	100(%)	98.4(%)
			成果指標の到達度(B/A)
			98.4%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)	
支出内訳	報償費	10	4,000	財(源割内合訳)	国庫支出金	()		
	需用費	159	157,532		県支出金	()	16,190	16,190,000
	委託料	150,011	132,930,143		地方債	()		
	扶助費	15,557	1,849,970		その他	()		
	その他	8,025	8,021,161		一般財源	()	157,572	126,772,806
合計		173,762	142,962,806	合計		173,762	142,962,806	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)					
		1.1	4,230,160					

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
BCG未接種者がいる。	努力義務ではあるが、第1子新生児訪問の際に接種勧奨に努めるとともに、医療機関と連絡を取り未接種者の把握に努める

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	健康増進課	No	2
-----	-------	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	3	生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備	1	健康づくりの推進	2	保健サービスの充実
事業名	健康診査事業(各種がん検診)					
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費
	細目	5	健康増進事業費	細々目	2	健康増進事業費(単独)
事務区分(根拠法令)	法定受託事務(健康増進法)			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
がんは昭和56年から我が国の死亡原因の第一位であり、健康にとって重大な問題である。2人に1人が罹患し、3人に1人ががんで死亡すると言われている。高齢者人口の増加により多くの部位のがん死亡数・罹患数は増加傾向にある。	がん検診の必要性を伝えるとともに、がんを早期に発見し、早期に治療できるようにがん検診を実施する。胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん検診は40歳以上、子宮がん検診は20歳以上で職場で検診の機会のない方が対象である。なお、乳がん、子宮がん検診は2年に1回の検診である。	6月～翌年1月まで医療機関でがん検診を実施し、6～7月には土・日曜日に8日間集団検診を実施する。また、2～3月には子宮がん、乳がん検診を追加して実施する。22年度より肺がん検診の個別検診を開始する。また、子宮頸がんは20～40歳、乳がんは40～60歳の5歳刻みの方に検診手帳と無料クーポン券を送付し、検診の必要性を理解してもらうとともに、受診率の向上に努める。	
活動指標		成果指標	
集団検診実施回数		大腸がん検診受診率	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
8(回)	8(回)	20(%)	14.5(%)
			成果指標の到達度(B/A)
			72.5%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	報償費	66	32,900	財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
	需用費	1,260	1,062,532		県支出金	()	
	役務費	739	738,820		地方債	()	
	委託料	80,795	79,641,490		その他	()	7,578
					一般財源	(100%)	75,282
合計		82,860	81,475,742	合計		82,860	81,475,742

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	2.6	12,189,520

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
若い世代のがん検診の受診率は低い状況にあるため、商工会議所とがん検診受診率向上に向け協定を結んだ事を生かし、職域との連携を行っていく必要がある。	職場でのがん検診の実態が分からないため、まずはアンケートを行い、実態の把握に努めるなど、職域との連携を行っていく。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	健康増進課	No	3
-----	-------	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	3	生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備	1	健康づくりの推進	2	保健サービスの充実			
事業名	結核、感染症予防対策の充実								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	2	予防費
	細目	1	感染症予防費	細々目	2	結核予防費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		法定受託事務 (感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
結核患者数は減少傾向にあるものの、年間2万4千人の新規患者が発生するなど、結核は依然として我が国の主要な感染症である。特に近年、抗結核薬に耐性を有する多剤耐性結核の発生、住所不定者や外国人などの感染、高齢者における再発など、新たな課題もみられている。	65歳以上の住民を対象に結核検診を実施する。簡単な検診であり、早期に見ることにより、感染の蔓延を防止する。	肺がん検診と同時に実施する。6月～7月の集団検診及び10月に地区巡回を実施する。今年度から他のがん検診と同様に、6月～翌年1月の医療機関での検診を開始した。	
活動指標		成果指標	
結核検診受託医療機関数		受診率(H21年度10.4%)	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
32(箇所)	28(箇所)	20.0(%)	23.8(%)
			成果指標の到達度(B/A)
			119%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	3	850	財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
	役務費	120	120,000		県支出金	()	
	委託料	1,292	1,009,092		地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		(100%)	1,415	1,129,942
合計		1,415	1,129,942	合計		1,415	1,129,942
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		1.2	5,831,920				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
医療機関での検診が始まったことにより、受診率は大幅に増加した。そのため、地区巡回での1か所当たりの検診利用が減少している。	今後の受診人数を確認しながら、時間や場所の検討を行っていく。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	健康増進課	No	4
-----	-------	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	3	生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備	1	健康づくりの推進	2	保健サービスの充実			
事業名	感染症予防事業(麻しん、風しんの予防接種)								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	2	予防費
	細目	1	感染症予防費	細々目	1	予防接種費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		法定受託事務 (感染症予防法)				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
平成19年度に10代及び20代の年齢層を中心とした麻しんの大流行があり、国は平成20年度から5年間を麻しん排除のための対策期間と定め、定期の予防接種(1期・2期)に中学1年生と高校3年生相当の年齢の者を時限的に追加した。	接種率95%を目指し、麻しん、風しんを地域から根絶する。	対象年齢の者は就学していることが多いと想定されるため、教育委員会、各学校と連携を図り積極的に接種勧奨の啓発に努める。また、かかりつけ医、通学での接種機会の増大を図るため、広域接種可能とするため県医師会と契約する。		
活動指標		成果指標		
接種者数		接種率		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	
1,279人	1,083人	95%	84.90%	89.7%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	12,410	11,621,673	財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		(100%)	12,410	11,621,673
合計		12,410	11,621,673	合計		12,410	11,621,673

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	1.2	5,831,920

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
未接種者がいるため、接種勧奨に努める。	接種勧奨に努めるとともに、医療機関と連絡を取り未接種者の把握に努める。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

		部署名	健康増進課		No	19
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	3	生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備	1	健康づくりの推進	2	保健サービスの充実
事業名	感染症予防事業(子宮頸がん等ワクチン接種)					
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費
	細目	1	感染症予防費	細々目	1	予防接種費
事務区分(根拠法令)	法定受託事務		感染症予防法		予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
疾病の流行防止、重症化の軽減を図るため感染症予防法に基づき予防接種を実施している。平成22年度末には子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業が行政措置による事業として実施。	免疫水準を維持する、接種機会を安定的に確保するために実施。「子宮頸がん等ワクチン接種促進事業の実施について」に記載されている対象者	かかりつけ医で接種できるよう、県医師会と委託契約を締結し、広域医療圏で個別接種にて実施。	
活動指標		成果指標	
接種者数		接種率	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
1,181人	372人	100%	31.50%
			成果指標の到達度(B/A) 31.5 %

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	55,851	29,007,537	財(源割内訳)	国庫支出金()		
					県支出金()	33,933	13,088,000
					地方債()		
					その他()		
			一般財源(100%)		21,918	15,919,537	
合計		55,851	29,007,537	合計		55,851	29,007,537
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		2.15	11,554,480				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
未接種者がいるため接種勧奨に努める。	接種勧奨に努めるとともに、医療機関と連絡を取り未接種者の把握に努める

事業の方向性(一次評価)	
B	事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		健康増進課		健康企画係		No	1
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	3	生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備		1	健康づくりの推進	3	地域保健体制の充実
事業名	保健センターの機能の充実						
予算費目	款	4	衛生費		項	1	保健衛生費
	目	1	保健センター運営費		細々目	1	保健センター運営費
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市民の健康診査及び健康相談等の保健サービス、健康教育及び保健・栄養指導、保健衛生活動の組織の育成、その他健康保持増進に関する事業を目的に昭和56年4月に開設された。合併後は小野田地区の拠点としてその役割を担っている。		小野田地区住民の健康・保健事業の推進		保健センターの小野田地区の拠点として業務を担っている。職員は当番制で毎日2名常駐している。	
活動指標			成果指標		
小野田保健センター開所日数			小野田保健センター実働日数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
245日		245日		100%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	2,053	2,052,316	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	役務費	455	454,726		県支出金 ()		
	委託料	961	960,540		地方債 ()		
	使用料	109	102,501		その他 ()		
	その他	106	105,200		一般財源 (100%)	3,684	3,675,283
合計		3,684	3,675,283	合計		3,684	3,675,283
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		1.3	6,216,480				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
母子保健推進委員をはじめ、健康・保健業務関係団体が会議等で使用している。また、小児科休日急患診療や平日夜間診療を行っている。しかし施設の老朽化により空調施設や給水設備の不具合が多く、利用者に迷惑をかけることが多々ある。また公用車においては10年以上を経過したものが多く、機動力に支障をきたすことが多い。	老朽化した施設を改修することにより利用者の利便性の向上と維持管理費の低減を図る。また、公用車も更新し、保健センターとしての機動力の向上を図る。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--